

## Comment

### **A meta-analysis of the association between *Helicobacter pylori* (*H.pylori*) infection and hyperemesis gravidarum**

Helicobacter 23: e12455

---

38 論文のメタ解析により、*H.pylori* 感染が妊婦の妊娠悪阻と関連していることを示した論文である。トルコからの報告が主であるが、日本からの報告もあり興味深い。しかしながら有意ではあるがオッズ比は 1.35 と低く、便中抗原検査による感染診断群のサブ解析ではオッズ比 1.463 (95%CI : 0.689~2.23) で、95%CI より有意な関連性とするには疑問がある。オッズ比よりセレクションバイアスの可能性が十分に考えられる。可能な限り交絡因子を一致させたプロペンシテスコアを用いた統計解析による検討も必要と思われる。また著者らは、出版バイアスについて Funnel plot と Egger 検定の結果を示し、言及している。妊娠悪阻の診断基準の確立に加え、除菌介入による前向きのコホート研究が理想的である。しかし著者らも指摘しているように、胎児に対する催奇形性の倫理的な問題を含むことから、臨床研究法の観点からも介入研究は極めて困難と思われる。

(川崎医科大学消化管内科 塩谷 昭子)

---